

能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略

数値目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

平成28年8月

目 次

基本目標 1 地域における安定したしごとの創出

- (1) 地域産業の活性化の推進 1
 - (ア) 新エネルギー等関連産業の創出
 - (a) 関連産業の創出と育成
 - (b) 水素エネルギーの研究
 - (イ) 企業誘致及び企業活動への支援等
 - (a) 企業誘致の推進
 - (b) 能代港の利活用促進
 - (ウ) 商工業の振興
 - (a) 既存企業の維持拡大
 - (b) まちのにぎわいの創出
 - (c) 起業等の促進
 - (d) 人材の確保・就職支援
 - (エ) 農業の振興
 - (a) 野菜ランド能代の推進
 - (b) 水田農業の再構築
 - (c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進
 - (d) 担い手育成と新規就農者の促進
 - (オ) 林業、木材産業の振興
 - (a) 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立
 - (b) 林業生産の効率化
 - (c) 地場産材の消費拡大
- (2) 地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大 7
 - (ア) 市内外への魅力のPR
 - (イ) 地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利用
 - (ウ) 交流が広がるイベントや行事への支援

基本目標 2 少子化対策

- (1) 脱少子化に向けた市民意識の醸成 9
 - (ア) 結婚、出産、子育てに関する意識の醸成
- (2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化 10
 - (ア) 出会いの機会の提供
 - (イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実
 - (a) 不妊治療等に対する支援の推進
 - (b) 子どもを生み育てるサポート体制の充実
 - (ウ) 子育て世帯の経済的負担の軽減
 - (エ) 子育てと仕事の両立支援
 - (a) 安心して預けられる保育環境の整備
 - (b) 企業等による子育て支援の促進
 - (オ) 子育てを地域で支援する仕組みづくり
- (3) 次代を担う子どもの成長支援 12
 - (ア) きめ細かな教育の推進
 - (a) ふるさと教育の推進
 - (b) 多様なニーズに対応した教育の推進

基本目標 3 移住・定住対策

(1) 首都圏等からの移住の促進	14
(ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備	
(a) 移住情報の発信と収集	
(b) 移住者の受け入れ体制整備	
(イ) 多様なニーズに対応した移住促進	
(ウ) 本市出身者のUターンの促進	
(2) 若者の定住の促進	15
(ア) 高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のUターンの促進	
(3) 地元への愛着をはぐくむ	15
(ア) 子どもたちによるふるさとの発見	
(イ) シティセールスによる市の魅力再発見	
(ウ) 特色あるまちづくり	

基本目標 4 新たな地域社会の形成

(1) 広域的な視点での地域社会の形成	17
(ア) 能代山本地域の連携	
(2) 地域社会の維持・活性化	17
(ア) 地域コミュニティの維持	
(a) 自治会等への支援	
(b) 地域づくりの促進	
(イ) 防災への対応強化	
(ウ) 地域公共交通の維持・確保	
(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援	
(a) 若者の活躍支援	
(b) 女性が活躍できる環境づくり	
(c) 健康で元気な高齢者の活躍促進	
(3) 安全・安心な暮らしを守る環境づくり	20
(ア) 既存インフラのマネジメント強化	

達成状況集計表

基本目標	合計	順調 (^_^)	横ばい (-_-)	不調 (>_<)	未確定
1 地域における安定したしごとの創出	30	19	6	4	1
2 少子化対策	16	8	4	1	3
3 移住・定住対策	12	9	2	1	0
4 新たな地域社会の形成	17	7	9	0	1
合計	75	43	21	6	5
重複している指標	5	4	0	0	1
実数	70	39	21	6	4

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

数値目標 (1)市の施策に関する雇用創出数 (5カ年累計)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	35					87	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							雇用奨励措置の対象となった新設・増設企業数が2社あり、市内から合わせて9人の新規雇用があったほか、創業者が8人、新規就農者が18人であったことから、市の施策に関する雇用創出数は計35人となった。	順調 (^-^)

- (1)地域産業の活性化の推進
 (ア)新エネルギー等関連産業の創出
 (a)関連産業の創出と育成

KPI (2)再生可能エネルギー自給率								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7.0	7.2					19.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							27年に出力1,990kWの風力発電所が予定どおり新たに2カ所稼働し、自給率が増加した。	順調 (^-^)

KPI (3)風力発電による導入量								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	19,580	23,560					117,000	kW
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							27年に出力1,990kWの風力発電所が予定どおり新たに2カ所稼働し、導入量が増加した。	順調 (^-^)

- (b)水素エネルギーの研究

KPI (4)戦略期間内での研究会等の設置								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—					1	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							総合戦略の推進期間内に設置を予定している。	横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(イ) 企業誘致及び企業活動への支援等

(a) 企業誘致の推進

KPI	(5) 新設、増設企業数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2					5	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							27年度は、2件の新設・増設企業があり、堅調に推移している。 (※26年度実績3件)	順調 (^-^)

(b) 能代港の利活用促進

KPI	(6) 能代港の取扱い貨物量(能代火力発電所専用棧橋を除く)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	397,621						571,000	トン
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							※9月頃に県から実績値データが送付される予定。	

(ウ) 商工業の振興

(a) 既存企業の維持拡大

KPI	(7) 中小企業融資あっせん制度利用件数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	221					1,000	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							中小企業に対する制度として定着しており、実績は安定して推移している。 (※26年度実績192件)	順調 (^-^)

(b) まちのにぎわいの創出

KPI	(8) 歩行者、自転車通行量							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3,936	3,967					5,218	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							中心市街地活性化推進事業等の各種事業推進により、現状を維持している。	横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(9)空き店舗の利活用件数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	3					10	件
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>空き店舗を活用した補助制度や起業等相談窓口等の支援が起業の後押しとなっており、利用及び相談件数は増加傾向にある。 (※26年度実績3件)</p>						<p>達成状況</p> <p>順調 (^~^)</p>

(c) 起業等の促進

KPI	(5)新設、増設企業数 (5カ年累計) (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2					5	件
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>27年度は、2件の新設・増設企業があり、堅調に推移している。 (※26年度実績3件)</p>						<p>達成状況</p> <p>順調 (^~^)</p>

KPI	(10)創業者数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	8					30	人
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>起業等相談窓口をはじめとする各種支援制度が浸透してきており、創業者は増加している。 (※26年度実績1人)</p>						<p>達成状況</p> <p>順調 (^~^)</p>

(d) 人材の確保・就職支援

KPI	(11)新規学校卒業者就職率(能代山本)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41.5	36.9					50.0	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>減少傾向にあるが、県内就職率は増加傾向にある。市外企業の積極的な募集活動が要因と考えられる。</p>						<p>達成状況</p> <p>不調 (>_<)</p>

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(エ) 農業の振興

(a) 野菜ランド能代の推進

KPI	(12) 戦略作物5品目の生産出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	1,110	1,426					1,500	百万円
							推移の分析・考えられる要因 白神ねぎの販売額10億円達成をはじめ、各品目の販売数量が増えている。	
							達成状況	順調 (^-^)

(b) 水田農業の再構築

KPI	(13) 30a以上区画のほ場整備率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	60.6	61.3					64.2	%
							推移の分析・考えられる要因 ほ場整備事業(区画整理)が順調に進められている。	
							達成状況	順調 (^-^)

KPI	(14) 一等米比率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	93.0	96.9					93.0	%
							推移の分析・考えられる要因 天候不順による生育への影響が少なく、出芽から出穂まで順調に推移したため、一等米比率が上昇したと考えられる。	
							達成状況	順調 (^-^)

KPI	(15) 食味値							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	71.1	75.0					77.0	
							推移の分析・考えられる要因 県の指導により、農家の適正な栽培管理がなされたものと考えられる。	
							達成状況	順調 (^-^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進

KPI	(16) 地産地消協力店数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41	41					60	店
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新規認証店舗もあったが、閉店店舗もあり、前年度と同数となった。</p>						達成状況
								横ばい (-)

KPI	(17) 農産物直売所の売上げ							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	219,390	238,555					356,467	千円
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>各直売所ごとに工夫し、目標に向かって順調に推移している。</p>						達成状況
								順調 (^)

(d) 担い手育成と新規就農者の促進

KPI	(18) 担い手農地集積率(個人・集団を含む)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	54.9	56.1					64.9	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>担い手の数が増加したことにより、農地集積率が上昇したものと考えている。</p>						達成状況
								順調 (^)

KPI	(19) 農業経営法人数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	18	20					25	法人
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>ほ場整備実施に伴い法人が新設された。</p>						達成状況
								順調 (^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(20)新規就農者数 (5力年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	18					38	人
		推移の分析・考えられる要因 国の「農の雇用事業」の活用や、青年就農給付金事業の普及により、新規就農者数が増えたと考えられる。 (※26年度実績5人)						達成状況 順調 (^^)

(オ)林業、木材産業の振興

(a)木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立

KPI	(21)木材製品出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	14,013	13,976					15,000	百万円
		推移の分析・考えられる要因 廃業・休業の事業所増加のため、前年度比で微減となった。						達成状況 横ばい (--)

(b)林業生産の効率化

KPI	(22)林内道路密度							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	19.2	19.6					20.0	m/ha
		推移の分析・考えられる要因 林業専用道高森線、大森線の林道台帳登載分に伴い伸びている。						達成状況 順調 (^^)

KPI	(23)皆伐後の植栽面積							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	18.1					100.0	ha
		推移の分析・考えられる要因 概ね順調だが、平均値(20ha)を下回っているため、補助制度の活用周知に努める。						達成状況 順調 (^^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(24)秋田林業大学校本市出身研修生 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	-	-					5	人
			推移の分析・考えられる要因 28年度から1人入学している。また、同年度から家賃補助制度を創設し、経済的負担の軽減を図っている。				達成状況	
								横ばい (-_-)

(c)地場産材の消費拡大

KPI	(25)木のまちづくり推進事業利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	29	53					60	件
			推移の分析・考えられる要因 27年度から内装材と外装材の併用を可能とした影響によるもの(併用12件)。また、同年度から新聞広告(年2回)による周知も始めた。				達成状況	
								順調 (^-^)

(2)地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大

(ア)市内外への魅力のPR

KPI	(26)能代市の観光・物産・宿泊・交通情報に関するホームページへのアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	10,273	8,956					30,000	件
			推移の分析・考えられる要因 観光協会等のホームページが充実していることから本市ホームページへのアクセス数が減少したものと考えている。				達成状況	
								不調 (>_<)

(イ)地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用

KPI	(27)豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41.5	40.8					60.0	%
			推移の分析・考えられる要因 普段の生活の中に溶け込んでいる資源であることから、その良さや魅力に気付いていない方が多いものと考えられる。				達成状況	
								横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(28)滞在人口率の県内順位(休日)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	15	17					11	位
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				平日・休日ともに滞在人口(市区町村単位で滞留時間が2時間の人口)は26年度から微増したが、県内での順位は下がった。他の市町村での伸びが大きかったものと考えている。			不調 (>_<)	

(ウ)交流が広がるイベントや行事への支援

KPI	(29)観光客入込客数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	1,741,141	1,656,159					1,800,000	人
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				能代七夕「天空の不夜城」の入込客について、主催者発表が減となった。			不調 (>_<)	

基本目標2 少子化対策

数値目標		(30)合計特殊出生率						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	1.24						1.55	
		推移の分析・考えられる要因						達成状況
		※10月頃に県から基礎数値が示される。						

数値目標		(31)婚姻数						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	163	170					200	件
		推移の分析・考えられる要因						達成状況
		若干ではあるが増加している。						順調 (^-^)

(1)脱少子化に向けた市民意識の醸成

(ア)結婚、出産、子育てに関する意識の醸成

KPI		(32)子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—						60.0	%
		推移の分析・考えられる要因						達成状況
		28年度から市民意識調査の調査項目としている。 (※28年度市民意識調査は実施中)						

KPI		(33)家庭教育支援事業等への中・高校生の参加割合(中学生)(5力年累計)						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2.9					100.0	%
		推移の分析・考えられる要因						達成状況
		中学校に対し、十分な事業周知が図られていないことが要因と考えられる。						不調 (>_<)

基本目標2 少子化対策

KPI	(33) 家庭教育支援事業等への中・高校生の参加割合(高校生)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4.6	3.8					15.0	%
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		26年度は2,210人中101人だった参加生徒数が、27年度は2,190人中83人に減少した。活動場所の増を図れなかったこと及び参加人数の減による。					不調 (>_<)	

(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化

(ア) 出会いの機会の提供

KPI	(34) あきた結婚支援センター入会者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	119	142					194	人
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		27年度に入会した23人のうち19人が会員登録料の助成を受けており、広報掲載等による周知が進んでいると思われる。					順調 (^_^)	

(イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実

(a) 不妊治療等に対する支援の推進

KPI	(35) 不妊治療費助成制度利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	44	67					53	件
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		不妊治療への理解・周知が進み、治療者が増えた。医療機関の事業への理解があり、周知への協力を得られた。					順調 (^_^)	

(b) 子どもを生き育てるサポート体制の充実

KPI	(36) 子育て支援センター利用者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7,565	9,012					7,900	人
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		新しい事業として「サンデーすくすく」を行った。また、「ちびっこフェスティバル」の開催日が他の行事と重ならなかったため、参加者が多かったと思われる。					順調 (^_^)	

基本目標2 少子化対策

KPI	(37)妊婦一般健康診査受診率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	86.8	87.9					100.0	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>母子手帳交付の際に、妊婦健診の大切さについて指導している。27年度は微増しているが、流産早産及び妊娠中の転出等の状況による変動の範囲内と考える。</p>						達成状況
								横ばい (-)

KPI	(32)子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合（再掲）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	-						60.0	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>28年度から市民意識調査の調査項目としている。 (※28年度市民意識調査は実施中)</p>						達成状況

(ウ)子育て世帯の経済的負担の軽減

KPI	(38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	25.3	26.0					35.0	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>わずかではあるが、目標値に向かって上昇しており、地域での子育て意識の醸成がなされていると考えられる。</p>						達成状況
								順調 (^~^)

(エ)子育てと仕事の両立支援

(a)安心して預けられる保育環境の整備

KPI	(39)病児・病後児保育事業実施施設数(保育所等)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4	4					6	施設
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>病児・病後児保育を実施するためには、看護師等の配置が必要となるため、施設の増には至っていない。</p>						達成状況
								横ばい (-)

基本目標2 少子化対策

KPI	(40)放課後児童クラブ(留守家庭児童会)のクラス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	11	9					15	クラス
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>利用児童の減少により、切石・富根児童クラブを二ツ井児童クラブに統合した。</p>						<p>達成状況</p> <p>横ばい (-_-)</p>

(b)企業等による子育て支援の促進

KPI	(41)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	24	24					26	社
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>一般事業主行動計画の策定企業数に変動がなかった。</p>						<p>達成状況</p> <p>横ばい (-_-)</p>

(オ)子育てを地域で支援する仕組みづくり

KPI	(38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	25.3	26.0					35.0	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>わずかではあるが、目標値に向かって上昇しており、地域での子育て意識の醸成がなされていると考えられる。</p>						<p>達成状況</p> <p>順調 (^_^)</p>

(3)次代を担う子どもの成長支援

(ア)きめ細かな教育の推進

(a)ふるさと教育の推進

KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	61.0	65.1					70.0	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>小学校は前年度の数値とあまり変わりはないが、さらに発達段階に合った対応が必要である。中学校はふるさとキャリア教育など地域と関わる活動を年々充実させていることにより増加傾向にある。</p>						<p>達成状況</p> <p>順調 (^_^)</p>

基本目標2 少子化対策

(b)多様なニーズに対応した教育の推進

KPI	(43)5歳児親子相談参加率														
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位							
26年度	92.3	93.2					93.0	%							
<table border="1"> <caption>推移の分析・考えられる要因</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>92.3</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>93.2</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>93.0</td> </tr> </tbody> </table>							年次	参加率 (%)	基準値	92.3	H27	93.2	H31	93.0	達成状況
年次	参加率 (%)														
基準値	92.3														
H27	93.2														
H31	93.0														
<p>相談事業の周知が図られており、目標値の93%以上を維持している。</p>							順調 (^-^)								

基本目標3 移住・定住対策

数値目標 (44)市からの転出、転入増減数									
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位	
26年	△ 292	△ 175					△ 120	人	
							推移の分析・考えられる要因 26年 転入1,256人 転出1,548人 27年 転入1,250人 転出1,425人 転入はほぼ変わらないが、転出が100人以上減少した。		達成状況
								順調 (^-^)	

- (1) 首都圏等からの移住の促進
- (ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備
- (a) 移住情報の発信と収集

KPI (45)移住相談件数 (5カ年累計)									
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位	
26年度	-	31					350	件	
							推移の分析・考えられる要因 27年度は、地方創生先行型交付金を活用して事業を実施し目標を35件としていた。単年度では目標値をわずかに下回ったものの、概ね想定どおりの件数であり、移住相談会への参加等の積極的なアプローチによるものと考えている。		達成状況
								順調 (^-^)	

- (b) 移住者の受け入れ体制整備

KPI (46)市への相談を経て移住した世帯数 (5カ年累計)									
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位	
26年度	-	2					15	世帯	
							推移の分析・考えられる要因 単年度あたり1世帯届かなかった。取り組み初年度ということもあり、すぐには実際の移住に結びつかなかったものと考えている。		達成状況
								順調 (^-^)	

- (イ) 多様なニーズに対応した移住促進

KPI (20)新規就農者数 (5カ年累計) (再掲)									
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位	
26年度	-	18					38	人	
							推移の分析・考えられる要因 国の「農の雇用事業」の活用や、青年就農給付金事業の普及により、新規就農者数が増えたと考えられる。 (※26年度実績5人)		達成状況
								順調 (^-^)	

基本目標3 移住・定住対策

KPI	(47)移住体験参加世帯数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	0	—					20	世帯
		推移の分析・考えられる要因 移住体験ツアーを28年度から新たに実施する。					達成状況	横ばい (-)

(ウ)本市出身者のUターンの促進

KPI	(48)移住相談件数のうちUターンした世帯数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	1					12	世帯
		推移の分析・考えられる要因 市への相談を経て移住した世帯数2世帯のうち1世帯がUターンで、移住世帯数の指標と同様、取り組み初年度ということもあり、すぐには実際の移住に結びつかなかったものと考えている。					達成状況	順調 (^~^)

(2)若者の定住の促進

(ア)高校卒業生等の定住及び大学卒業生等のUターンの促進

KPI	(49)市内居住による奨学金の返還支援件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7	12					45	人
		推移の分析・考えられる要因 27年度から償還を開始する人が15人。うち5人が能代市内居住者となっており、累積12人の支援件数となっている。					達成状況	順調 (^~^)

(3)地元への愛着をはぐくむ

(ア)子どもたちによるふるさとの発見

KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合（再掲）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	61.0	65.1					70.0	%
		推移の分析・考えられる要因 小学校は前年度の数値とあまり変わりはないが、さらに発達段階に合った対応が必要である。中学校はふるさとキャリア教育など地域と関わる活動を年々充実させていることにより増加傾向にある。					達成状況	順調 (^~^)

基本目標3 移住・定住対策

(イ)シティセールスによる市の魅力再発見

KPI	(50)市ホームページモバイルアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	161,011	204,667					351,000	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							モバイル保有者の増加により、アクセス数が増加したものと考えられる。	順調 (^~^)

(ウ)特色あるまちづくり

KPI	(51)バスケットの街を他に誇れると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	38.6	39.8					50.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							能代市バスケットの街づくり推進計画を24年度からスタートし、各種取組を進めている。	横ばい (-_-)

KPI	(52)能代バスケットミュージアム来館者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4,502	3,715					5,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							26年度は、秋田デスティネーションキャンペーンによるイベントが長期間で実施され、来館者増につながった。	不調 (>_<)

KPI	(53)のしろ銀河フェスティバル来場者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	3,321	3,527					4,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							モデルロケット1,000機打ち上げや銀河連邦子ども留学交流を同時開催したことにより、入場者増となった。	順調 (^~^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

数値目標	(54)このまちが住みやすいと感じる市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—						80.0	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							28年度から市民意識調査の調査項目としている。 (※28年度市民意識調査は実施中)	

(1) 広域的な視点での地域社会の形成

(ア) 能代山本地域の連携

KPI	(55)市と近隣町が新たに行う連携事業数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—					4	事業
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							27年度は、藤里町、三種町、八峰町それぞれとの定住自立圏形成協定の締結や、定住自立圏共生ビジョンの策定を行った。28年度から、新たな連携事業の検討を始めている。	横ばい (--)

(2) 地域社会の維持・活性化

(ア) 地域コミュニティの維持

(a) 自治会等への支援

KPI	(56)公民館等利用者割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	20.0	19.4					20.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							ニツ井公民館の耐震工事により、利用者が約4,000人減少した影響が大きい。	横ばい (--)

KPI	(57)自治会・町内会数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	347	346					345	
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							出戸第三自治会の解散・合併があった。	横ばい (--)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(58)自治会、町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	36.5	34.7					50.0	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>地域の人口が減少してきている中で、市民活動に対する意識は横ばいの状況で推移してきている。</p>					達成状況	横ばい (- -)

(b)地域づくりの促進

KPI	(59)市民まちづくり活動支援事業応募件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7	9					10	件
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>広報・ホームページ・記者クラブでの周知を図っている。</p>					達成状況	順調 (^ - ^)

(イ)防災への対応強化

KPI	(60)消防団員充足率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	83.9	83.8					93.8	%
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>団員増加のため、広報や成人式での周知、協力事業所への依頼活動を行い消防団員の充足を図っているが、団員の高齢化による退団や若年層の団員の担い手がいないため減少傾向にある。</p>					達成状況	横ばい (- -)

KPI	(61)自主防災組織数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3	5					12	自治会
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>目標値に対する年2組織の増となっており、目標どおり推移している。出前講座や自主防災組織補助金等が一定の効果を考えているとされている。</p>					達成状況	順調 (^ - ^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

(ウ) 地域公共交通の維持・確保

KPI	(62) 路線バス等の利用者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	330,170	326,470					330,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>人口減少や少子高齢化、自動車の普及により減少傾向が続いている。</p>								横ばい (-)

KPI	(63) 巡回バスの1便平均利用者数 (市街地巡回バス『はななす号』及び向能代・落合地区巡回バス『しのめ号』)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	10	10					14	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>しのめ号は運行が定着し、増加傾向にある。はまなす号は固定化されてきており、現状を維持している。</p>								横ばい (-)

(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援

(a) 若者の活躍支援

KPI	(64) 市民活動支援センター登録団体数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	56	65					70	団体
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>ホームページのリニューアルや主催事業等で、積極的な登録促進を行ったことによる。</p>								順調 (^~^)

(b) 女性が活躍できる環境づくり

KPI	(65) 性別・国籍などに関わらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	8.8	10.9					15.0	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>男女共同参画都市宣言や関連事業などを行い、意識の浸透を図っている。</p>								順調 (^~^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(66)男女イキイキ職場宣言事業所数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	13	13					20	事業所
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							施設へのチラシ配布、男女共同参画推進委員への推薦依頼を行ったが、宣言事業所に変動はなかった。	横ばい (-_-)

(c)健康で元気な高齢者の活躍促進

KPI	(67)シルバー人材センター会員数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	335	310					400	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							定年延長や再雇用により新規会員数が減少している。また、継続して働ける仕事を求めており、受託作業内容とのミスマッチがある。	横ばい (-_-)

KPI	(68)高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3,889	4,434					5,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							前年比545人の増となっている。27年度は保坂福祉学園の教室の実施回数の増によるところが大きい。他の事業についてもより多くの参加者となるよう事業周知に努める。	順調 (^_^)

(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり

(ア)既存インフラのマネジメント強化

KPI	(69)公共施設等総合管理計画の策定							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	-	-					100	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							公共施設白書を28年9月頃に作成予定である。また、計画を28年度末までに策定する予定である。	順調 (^_^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(70)橋梁長寿命化修繕計画による修繕橋梁数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	1					22	橋
		<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>27年度は1橋修繕の計画としており、予定どおり工事は完成したことから順調に推移している。</p>					達成状況	
								順調 (^-^)